

第7回 学校と協働するSTのための講座

【連続講座①】

「教育と言語聴覚士との協働による 『読み書き困難のある子ども』の支援－基礎編」

主催 一般社団法人 東京都言語聴覚士会（地域生活支援局 特別支援教育部）

日時：2022年 3月 13日（日）
13:30-17:00（13:00より入室可能）

会場：オンライン開催（Zoom）

講師：原 恵子先生 上智大学大学院言語科学研究科 准教授

通常の学級に在籍する4.5%の小中学生が、特別な教育的支援を必要としています（文科省2012）。学習面において著しい困難をきたす子どもたちです。また、もともとの訴えは生活、情緒あるいは行動面であっても、その根底には読み書きの困難が潜んでいるお子さんも私たちが経験しているところです。言語聴覚士は、そのことに気づく視点を持つ専門職です。

読み書き困難の要因の一つとして、『音韻認識』の問題があります。講師の原恵子先生は、音韻認識について、長年、興味と情熱をもって研究していらっしゃいます。2019年にもお話しいただきましたが、今回は、音韻認識の理論的な背景を学び、読み書きの機能とどのように関与しているかについてさらに理解を深めます。

読み書き困難な子どもたちに対しては、教員をはじめ、言語聴覚士、心理士、作業療法士などさまざまな職種が関わり、支援をしています。その中で、言語聴覚士はどういう役割を担うのか、担うべきかを深く探っていきたいと思います。

本テーマは、連続講座とし、『第8回学校と協働するSTのための講座』へ続きます。職種に関わらず、すべての皆様と共に学びたいと思います。ぜひ、引き続き、ご参加くださいますようお願いいたします。

参加費：東京都＆各道府県の言語聴覚士会会員・学生：無料

一般参加者：2000円

※事前振り込み。入金先につきましては、お申し込み時にご記入頂いたメールアドレスにお知らせいたします。

定員：100名（定員になりしだい締切）

申し込み：下記を記載してe-mailでお申し込みください。

gakko-st@st-toshikai.org（担当：黒田）

件名： 第7回学校と協働するSTのための講座

①氏名、②勤務先、③電話番号、④メールアドレス
⑤都・県士会員／一般（ST）／学生／他職種（ ）

※1週間以内に返信が届かなかった場合、恐れ入りますが、上記メールアドレスに再度ご連絡いただきますようお願い申し上げます。